

こども広場ひかり評価アンケート(事業者)集計一覧 2022年3月集計

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	8	・面積的には適切であるが、子どもの多様性を考えた場合、不十分な面も否めない。ただし物理的な課題であるため資金的な部分も含め今後計画的に対処したい。 ・子供の成長もあり利用人数が多い場合は各活動をグループ分けしたり、公共施設に分散し活動をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	5	・常に人員配置基準以上の職員を配置できるよう配慮している。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	3	10	・一つのスペースを幾通りかの活動に利用するため構造化はしにくい状況である。室内に関しては概ねバリアフリーとなっているが、情報伝達の配慮に関しては欠ける部分もあることから、今後はピクトグラムを活用するなど障がい特性に応じた情報伝達ができるよう徹底したい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	10	・毎日活動終了後に清掃と消毒作業を行っています。行き届かない部分については定期的な大掃除で対応している。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	5	・業務及び活動に関しPDCAサイクルに基づいて取り組んでいることから、毎日の打ち合わせやケース会議等において全職員が参画している。

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	6	・行っている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	6	・事業所としての評価についても今後公表していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	7	・今後取り組むべき課題として認識している
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	2	・確保しているが、コロナ禍においてオンラインの研修が増えたことにより、演習などのより効果的な研修が減ってきたこともあり、今後の回復が望まれる。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1	・適切なアセスメントの実施は課題となっている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3	・アセスメントツールの活用に関しては課題としていることから、ツール活用研修の実施により有効に活用できるよう取り組みを進めたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	・概ね設定されている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1	・概ね行われている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	3	・概ね行われている。

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	3	・工夫されているが、子どもたちの印象も把握しながら進めていきたい。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	10	2	・支援は集団活動が中心であるが、子ども状況に応じて個別活動を取り入れ対応している。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	・その日行われる支援活動に関しては内容や役割分担はもちろんのこと、前日や直近の子どもの状況を全員で確認し対応等支援上の注意事項に関しても共有している。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	3	・時間的に充分ではないが記録メモをしながら情報交換はしている。 ・支援終了後はあまり時間が無いが、作業しながら話したり、次の日に振り返りをしている。 ・もっと振り返りや職員全体での話し合いはあった方が良い。 ・個の評価はメモ書きにより記録するが、時間的に充分共有されていない。 ・片付け送迎等で十分に時間が取れているとは言えないが、必要なことはできるだけ伝達しようとしている。 ・支援終了後記録を付けている。記録の付け方も改善していく必要があるかもしれない。
⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	3	・正しい記録の取り方と子どもを見る目の研修が必要。(あったことのみで終わりがち) ・記録をとっているが、時間的に余裕がない時がある。 ・正しい記録になるよう記録の取り方も研修が必要。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	3	・行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	4	・会議の際には最もふさわしい職員が参加する。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	7	・利用子どもの養育環境に関して、支援活動として必要がある際に連携して取り組んでいる。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	6	・小学校一年生については、幼稚園や保育園から支援内容に関し情報提供を受け相互理解を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	・現在はスムーズに調整できていると思う。事例の大小にかかわらず密接に情報交換している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	6	・コロナ禍において受けるべき研修が滞っていた。今後は積極的に連携し助言や研修を受けたい。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	4	8	・コロナ禍において実施できていない。今後は以前行っていた児童館での交流事業を中心に行っていきたい。また幼稚園や保育園とは、機会があれば運動会への参加など、行事を通しての交流を模索したい。
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	9	・自立支援協議会のメンバーには入っていない
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	3	・主には連絡帳と定期的な面談により行っているが、必要があれば面談を実施し発達状況や課題に関する情報共有を図っている。共通理解については概ね達成できていると考える。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	9	現在、行っているとは言い難い状況であることから、家族支援のための研修を重ね、取り組みを強化したい。
保護者への説明責任	㉔	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1	・概ね行っているが、より丁寧で分かりやすい説明を心掛けたい。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	1	・得ているが、より丁寧で分かりやすい説明を心掛けたい。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1	・行っているが、相談支援技術の向上を心掛け、相談しやすい雰囲気づくりにも配慮したい。

③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			・保護者会についてはつられておらず、開所当初は呼びかけもしたが機運も高まっていない。当事者間での情報交換や、子育て中の悩みの共有など、保護者会の持つ意味合いと重要性の理解促進を行い、設立の切っ掛けづくりを行いたい。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4	・苦情解決に関してはマニュアル及びガイドラインに沿った対応を迅速に行っている。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	・毎月「ひかりだより」を発行し行事予定等の情報共有を図っている
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	1	個人情報対応マニュアルに従い十分に対応している
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	・行っているが、支援技術の向上も含めより良い方法を適時取り入れながら進めていきたい。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	5	6	・コロナ禍により実施できていないが、地域の理解と連携協力が必要であるため、状況に鑑み積極的に行っていきたい。
④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	3	・各マニュアルに関する周知は行われており、訓練も対応毎に適時行われている。PDCAサイクルに基づき状況変化に対応していきたい。

非常時等の対応

④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	・中標津警察や別海消防署の協力を得て訓練を実施している。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	3	・服薬や予防接種については通所時の確認を基本としているが、直前の体調把握については観察点を明確にし今後もしっかりと確認を行いたい。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2	・半年ごとに保護者面談時に確認している。 ・常時アレルギーには配慮しており、重症のアレルギーについては医師の指示書を確認し徹底を図りたい。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	・更新が行われていない状況であり、更新と職員間の共通理解について確認と推進を行いたい。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	・虐待防止研修を行っているが職員の勤務により受けられない場合もあり、開催方法を工夫したい。また日常的な研修に関しOJTを活用するなど効果的な研修方法も取り入れ行いたい。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	・組織決定については虐待防止研修に合わせて、支援計画に記載されている身体拘束と虐待の違いについての確認行いたい。